

第27回 医療保健領域研修会

◆ テーマ ◆

変化する医療体制の中で活躍できる臨床心理士になるために

◆ 企画主旨 ◆

全国的なコロナ禍で、感染予防の観点からオンライン診療の活用を推進をはじめ、医療提供の在り方も変化してきています。医療に勤務する臨床心理士も、その中で、様々な局面に対応してきたと考えられます。今回は、オンラインにおける診療や心理臨床を学び、今後の実践に活かせるよう皆で学びたいと思います。また、どのような時期にあっても、私たちがいつ直面するかわからない医療事故やトラブルに対応するための「メディエーション」も学びます。これらを学びを通して、組織のなかの一員、チームの一員として役立つ心理職を目指していきましょう。今回、初のオンライン開催ということもあり、2日間にかけて実施いたします。

医療保健領域研修会は、①9月22日(祝・火)②10月4日(日)AMの2日で一つの研修会であり、1日だけ受講することはできません。2日受講することで、臨床心理士更新ポイントに必要な5時間を満たしますので、その点ご留意の上お申し込みください。

※ただし、オンライン研修会への資格更新ポイントの付与については、(公財)日本臨床心理士資格認定協会に申請中で、現時点では未定です。

主催

一般社団法人 日本臨床心理士会
医療保健領域委員会

◆ 9月22日 開催内容

	午前の部 (10:00～11:30)	午後の部 (13:00～14:30)
テーマ	SNSカウンセリングの実践	医療メデイエーションにおける心理職の役割 ～表出の背後にある欲求をくみ取る分析～
講師	宮田智基	和田仁孝
所属	帝塚山学院大学 大学院	早稲田大学 法学学術院
内容	twitter、LINE、FacebookなどのSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の普及にともない、SNSカウンセリングという手法が登場しましたが、このたびの新型コロナウイルス感染症拡大により、対面でのカウンセリングに代わる手法のひとつとして、SNSカウンセリングを含めた遠隔心理療法が脚光を集めています。本研修では、SNSカウンセリングとはどのようなものか、実際どのように進めるのかを学びたいと思います。	メデイエーションとは仲介・調停であり、医療メデイエーションとは「患者と医療者の対話の促進を通じて、情報共有を進め、認知齟齬（認知的コンフリクト）の予防、調整を支援する関係調整モデル」です。一般的に心理職が、トラブルやクレームの初期対応を求められることは稀かもしれませんが、しかし患者と医療職双方にとって余裕のない中で受け入れがたい、また伝えにくいやりとりが起こる医療現場は、ささいな認識のズレや誤解は常に発生するリスクを内包しているといえるでしょう。そこで本研修では心理専門職としての我々に、日々の臨床場面で期待されている役割を改めて整理し、その方法のひとつである「IPI分析」についてもご教示いただき、患者・医療職双方の気持ちに寄り添いつつも冷静に、表出の背後にある真の欲求をくみ取る分析・対処方法を、改めて考える機会にしていけたらと思います。
司会者	梨谷竜也（馬場記念病院・医療保健領域委員会副委員長）	相川祐里（済生会横浜市東部病院・医療保健領域委員会委員）

◆ 10月4日 開催内容

午前の部 (10:00~12:00)	
テーマ	精神科臨床における遠隔診療の最新知識
講師	岸本泰士郎
所属	慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室
内容	<p>今般の新型コロナウイルス感染症により、遠隔診療も大きく注目されました。心理カウンセリングにおいても、電話やインターネットなどを用いた介入の必要性に直面した方も少なくないでしょう。</p> <p>遠隔診療は、へき地に住む方、高齢者や身体的な障害によって移動が制限される方への支援を可能にし、必要とする人に必要な医療を届けることを可能にします。しかし、対面で空間を共にして行う面接とは異なる面もあり、適切な知識や対応の工夫が求められることになるでしょう。今回は、遠隔精神科医療の第一人者である岸本先生をお招きして、遠隔診療に関する最新知識や実践における留意点などをお話しいただき、心理支援での活用の可能性も考える機会としたいと思います。</p>
司会者	花村温子 (埼玉メディカルセンター・医療保健領域委員会委員長)

・9/22AM/PMの3時間、10/4AMの2時間の**合計5時間受講**で
資格更新ポイントの対象となります。

※ただし、オンライン研修会への資格更新ポイントの付与については、(公財)日本臨床心理士資格認定協会に申請中で、現時点では未定です。

◆ オンライン研修会（Zoom）申込時の注意事項

- ・パソコンもしくはタブレットでの参加をお願いします。
スマートフォンでの参加も可能ですが、資料を画面共有した際に文字が見えにくい場合等があり推奨しません。
また、複数端末での同時入室は出来ませんのでご了承ください。（例 パソコン+タブレットなど）
- ・有線または無線ブロードバンド回線、カメラ・マイク（内蔵もしくは外付け）が必須となります。
- ・今回のオンライン研修では、Zoomというツールをします。
初めて Zoom を利用する方は、Zoom アプリケーションをインストールしてください。
https://zoom.us/download#client_4meeting
- ・Zoomのシステム要件は、[こちら](#)を参照ください。
- ・参加するだけならば、Zoomアカウントの登録は不要です。
- ・参加費の着金確認後、日本臨床心理士会より「参加案内メール」を送付します。
オンライン研修参加のために事前に行っていただく操作がありますので、ご確認ください。
- ・開催日 1 日営業日前を目処に届く日本臨床心理士会より「招待メール」を送付します。
「参加案内メール」の内容に沿った操作をしていただき、当日参加するようにお願い致します。

◆ 留意事項

- 当研修会は、Zoomでのミーティングを経験されている方を対象にしています。研修会参加前に、必ずZoomの使用方法やカメラ・マイクの操作を理解した上で、参加ください。日本臨床心理士会では、Zoomや機材に関するお問合せには対応できません。
- 研修会当日に、Zoomのシステムや当会に起因するトラブルが原因で中断・中止した場合、時間の延長・別日程での開催のいずれかの対応を行います。
(当会はそれによって生じる損失の責任を負うことはできません。)
- 参加者のパソコン等の性能（CPU等）やインターネット接続回線（Wi-Fi電波が弱いなど）によっては、正常に受講いただけない場合があります。必ず、事前にご確認ください。参加者の機器やインターネット接続、環境を原因とするトラブルなどが発生した場合には、オンライン研修会・開催中の対応はできません。
- 受講者1名につき1端末で参加してください。
複数端末で接続されていることが確認された場合、強制退出していただくことがあります。
- 1名分の申込みでの複数名の聴講は禁止します。
- 参加者による録音・録画は如何なる場合も禁止します。